



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 *Rotary: Making a Difference*

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榑岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2017年11月22日 第2315回例会 VOL. 49 No. 20

- 司 会 副SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会 長 滝澤 亮
- 齊 唱 それでこそロータリー
- 出席報告

会員数	32名	本日の出席数	24名
本日の出席率	88.89%	修正出席率	87.5%

■本日の欠席者

五十嵐、宋、田川

■ゲスト

戸田 哲也様

(榑玉川文化財研究所代表取締役会長)

■会長報告

ここの所、寒い日が続いておりますが、皆様お変わりありませんか。私は早々とインフルエンザの予防接種を済ませました。

来週の夜間例会の前に、大川会員のご尽力によりがんセンターの見学に時間を取って頂きました。午後4時がんセンター集合となります。よろしく願い致します。

■5分間情報

安藤 公一

「福沢諭吉について」

一万円札で日々おめにかかる福沢諭吉について改めて勉強してみました。

諭吉は天保5年旧暦12月12日(1835年1月10日)に中津藩の蔵屋敷(現大阪市福島区)にて父百助、母於順の二男として生まれまし

た。百助は下級藩士で主に大阪商人からの藩の借財を扱う職にあり、一方儒教に通じた学者でした。生まれた年の前後の有名人では橋本佐内と同年、坂本竜馬は一つ下、高杉晋作は5つ下、吉田松陰は4つ上。明治維新前後に活躍した面々と同時代というのは、ちょっと意外な感じですが。その後の世代というイメージをお持ちの方が多いいのではないのでしょうか。

明治維新(1868年10月)当時は33歳だったのです。19歳で蘭学を学び、23歳で江戸の中津藩邸で開かれていた蘭学塾講師として赴任、この年1858年がのちの慶応義塾創立の年とされています。その後、外国人居留区となった横浜を訪れた際に英語の重要性を痛感し、英語の勉強に努めました。

翌々年2月、日米修好通商条約批准のため米国軍艦ポータハン号の護衛として咸臨丸に乗船し渡米。同年5月に帰国した際に、現地で購入したウェブスター大辞典の省略版をジョン万次郎と共に持ち帰り、英語翻訳研究に勤む。

1861年に26歳で結婚、その冬1862年1月末に文久遣欧使節に翻訳方として同行、欧州へ行く途中の香港に立ち寄り、その際に欧米列強の植民地主義・帝国主義を目の当たりにした。その後、南回りで欧州へ。ロンドン万博では当時最先端の技術に触れ、日本では無

かった銀行・郵便・徴兵制・選挙制度・議会制度を学び、1年後の1863年1月に帰国。その後、米国独立宣言の全文を翻訳し、「西洋事情」に掲載する等、幕府に対し機構改革などの啓蒙活動を行った。



この中に諭吉の言葉とされる「天は人の上に人を作らず、人の下に人をつくらず、が記されていたとされる。

1863年、薩英戦争が起きたことで、外交文書の翻訳で多忙を極めたが、その際に、汽船、版權、飛脚場、帳合、請合（保険）という和製漢語を考案する。

1867年に軍艦受取委員会随員として約半年の再渡米。帰国後「西洋旅案内」を書き上げる。翌1868年に蘭学塾を慶応義塾と名づけ教育活動に専念。明治維新後は新政府より出仕要請を断り、門下生を政府に送り込むなどして自身は慶応義塾の運営に専念。

同時に「通俗民権論」「通俗国権論」「民間経済録」を通し、官民調和を啓蒙。自由主義を紹介する際には「自由は不自由の中にあり」との言葉を使い、自分勝手主義への墮落に警鐘を鳴らした。過激な民権論には常に否定的であった。

明治12年頃以降、教育の画一化、中央集権化、官立化が確率されると私立の慶応義塾は経営難に陥り、大嫌いな勝海舟にまで資金調達を願い出るまでに至るも、明治13年に「慶応義塾維持法案」を作成、門下生に経営を任せ、自らは経営から退くとして経営を立て直した。平民の学生が徐々に増えたこともあった。

明治15年には時事新報を立ち上げ、その後は、数々の論述を重ねていった。

勝海舟と榎本武揚の二氏のことを諭吉は相反する二君に仕えたとして、変わり身の早い輩として終生嫌っていた。

諭吉の教育支援の流れは、現在の専修大学、一橋大学、神戸商科大学、北里研究所、東京

大学医科学研究所の創設に尽力したことのみならず、早稲田大学の設立も支援した。

日清戦争勝利まで還暦祝いを延期し、勝利後は日本の国権が大いに上昇したとして「感極まりて泣くの他なし」「長生きはすべきものなり」と喜んだ。

晩年1901年2月3日、66歳の生涯を閉じた。表面的には文明開化論者、啓蒙思想家、欧化主義とされる論者であるが、実は士族の土風を重んじる「ナショナルリズム」を強く持った人であったようです。

かなり乱暴かもしれませんが、日本という独立自尊することが最大の目的として欧米列強に対峙するためには、占いや呪いなどの旧習を捨て、積極的に先進技術や政策制度を取り入れることで文明を強化していく、その手立てとして国民の教育は不可欠なものだという理論だと思います。

明治8年に出版された「文明論之概略」の文章を紹介します。

目的を定めて文明に進むの一事あるのみ。その目的とは何ぞや。内外の区別を明らかにして我本国の独立を保つことなり。而してこの独立を保つ法は文明の外に求むべからず。

今の日本国人を文明に進めるは、この国の独立を保たんがためのみ。故に、国の独立は目的なり、国民の文明はこの目的に達する術なり。

この「国」を会員皆様の会社と置き換えてみると職業奉仕の根幹にも相通じるものがあるような気がします。今回はいい勉強をさせていただきました。

■ニコニコBOX（会員敬称略）

滝澤 亮／本日は戸田様、よろしくお願ひ致します。

安藤 公一（幹事代行）／戸田様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。本日、田川幹事欠席の為、代行を務めさせていただきます。宜しくお願ひ致します。

吉原 則光／戸田様、ご多用のところ卓話いただき有難うございます。有益なお話、楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。

後藤 英則／戸田会長ようこそ。本日の卓話楽し味にしています。

大川 伸一／戸田哲也様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話を宜しく願いいたします。

本山 雄三／戸田様、ようこそお越しくさいます。本日はよろしくお願ひします。

北澤 正浩／戸田様、ようこそ横浜旭ロータリークラブにお越しくさいます。卓話宜しくお願ひ致します。

倉本 宏昭／戸田様、お忙しいところようこそおいで下さいます。卓話よろしくお願ひします。

市川 慎二／①戸田様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

須藤 亘／①戸田様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。②日に日に寒さが増して来ました。皆様健康にどうぞご留意下さい。

■卓話「日本人の起源—最近の調査から—」

戸田 哲也様（玉川文化財研究所代表）



沖縄県南部の有名な観光地、おきなわワールドには鍾乳洞が沢山あり、その一つ「サキタリ洞穴」では2012年の発掘調査により今から2万3千年前の旧石器時代に属する釣り針、3万年前の人骨などが発見されました。

考古学者がこのような古い遺跡の年代を決定するには、宇宙から地球に降りそそぐ放射性炭素14（C14）の特性を用いて測定します。C14はまず植物に取り込まれ、その植物を摂取した動物（人間を含む）にも取り込まれます。そしてその動植物体が死ぬと、C14の補給が無くなるため時間の経過とともに一定の減少を示し、残率を測定することにより何万、何千年前に生きていたかが逆算できるのです。遺跡から発見される木炭（植物体）を測定するのが最も正確で、サキタリ洞穴では

2～3万年前を示す木炭と一緒に遺物が出土しました。

おきなわワールドではこのサキタリ洞穴内にカフェを設けて、発掘調査中の地点を見学することができます（写真下参照）。



遺跡を観光施設とするアイデアは古くは静岡県登呂遺跡（弥生時代）、近年では青森県三内丸山遺跡（縄文時代）、佐賀県吉野ヶ里遺跡（弥生時代）などの公営施設が知られていますが、ジャングルの洞穴遺跡、しかも旧石器時代に属するというコンセプトは臨場感もあり、日本では全く新しいスタイルとなります。

カフェと遺跡解説による収益の一部は発掘調査の資金としても活用されており学術研究と考古学の一般への普及という両方の効果が生み出されています。

日本では明治時代以来、遺跡は「お上が守るもの」という意識が強いのですが、このような民間観光施設が独自に実行しているあり方は大変注目されます。

2009年同じ沖縄県の石垣島でも新空港の建設の際、偶然にも「白保竿根田原洞穴」と名付けた2万年以前となる旧石器時代洞穴遺跡が発見されました。ここもかつては海岸に近かった洞穴ですが、石垣市の市街から遠く離れたこのような場所での偶然の発見となり、とてもラッキーなことといえます。しかし空港建設工事が無かったならばこの遺跡は半永久的に知られることがなかったでしょう。

沖縄県ではこれまでも何ヶ所かの土地からこのような日本では最も古い時代となる旧石器時代の人骨が、完全な骨格で、しかも多数発見されているのです。それに比べて本州で

はほんの数ヶ所、それも人骨の部分破片しか発見されていません。

実は沖縄県全体は隆起サンゴ礁を基盤としていることと関係しており、サンゴは石灰質アルカリ性分で、人骨などの石灰質を保存するという特性があります。一方、本州一帯の黒土、赤土は酸性土壌であり、骨などを溶かしてしまいますのです。

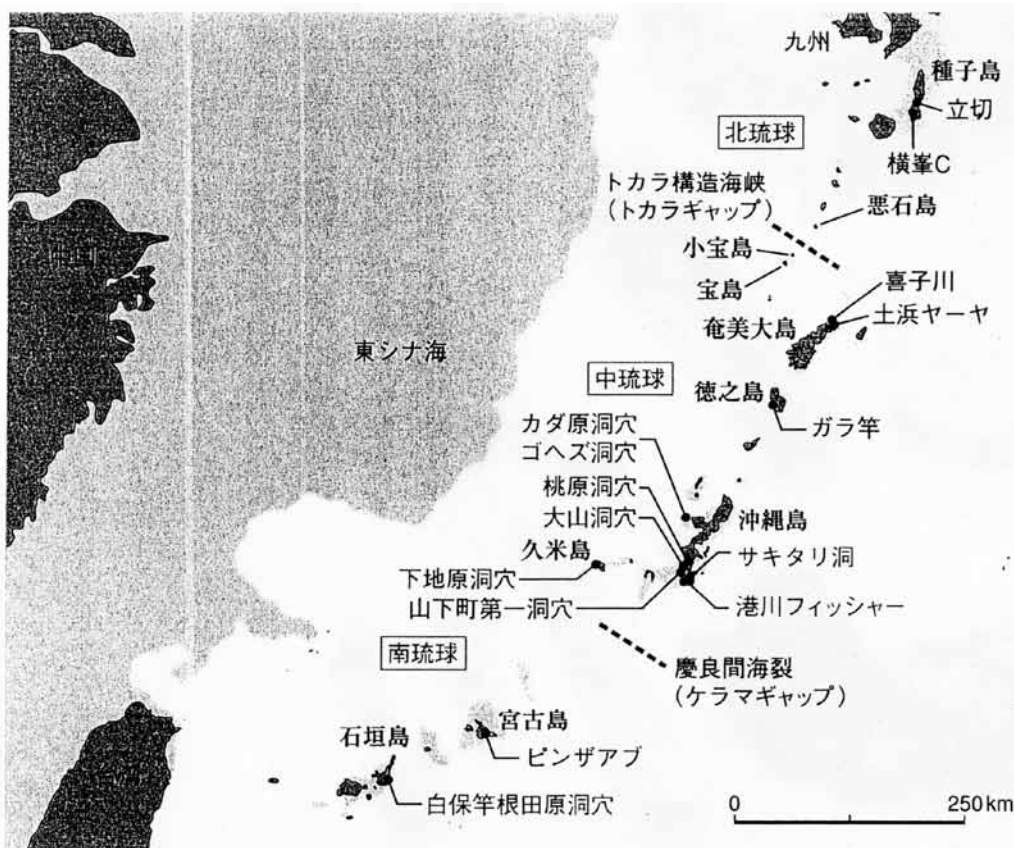
沖縄のこのような土壌の性質は2～3万年前の人骨でも現代まで残すという考古学的には素晴らしい条件に恵まれている土地であり、

今後も沖縄では日本人の祖先とつながる古い人骨とその文化が発見される可能性が高いのです。しかし今なお多くの原野、ジャングルとハブ、そして米軍基地などに阻まれて考古学者が立ち入るのがなかなか困難な状態が続いています。

■次週の卓話

12/6(水)・年次総会

・「疫病予防と治療」大川 伸一会員
週報担当 大川 伸一



所在地	遺跡名	年代	おもな遺物・遺構	発見年
鹿児島県	立切 (中種子町)	3万5000年前	石器・礫群	1997年
	横峯C (南種子町)	3万5000年前	石器・礫群	1992年
	土浜ヤーヤ (奄美市)	後期更新世	石器	1987年
	喜子川 (奄美市)	後期更新世	石器・礫群	1987年
	ガラ竿 (伊仙町)	後期更新世	石器	2002年
沖縄県	桃原洞穴 (北谷町・沖縄市)	後期更新世	人骨	1966年
	大山洞穴 (宜野湾市)	後期更新世	人骨	1964年
	山下町第一洞穴 (那覇市)	3万6000年前	人骨・石器?	1962年
	港川フィッシャー (八重瀬町)	2万2000年前	人骨	1968年
	サキタリ洞 (南城市)	2～1万年前	人骨・石器	2011年
	カダ原洞穴 (伊江村)	後期更新世	人骨	1962年
	ゴヘズ洞穴 (伊江村)	後期更新世	人骨	1976年
	下地原洞穴 (久米島町)	1万8000年前	人骨	1983年
	ピンザアブ (宮古島市)	3万年前	人骨	1979年
白保竿根田原洞穴 (石垣市)	2万年前	人骨	2009年	